

Kitakyushu Foreign Trade Association

GLOBAL VIEW

2011 SPRING No.16

北九州貿易情報「グローバル・ビュー」2011年・春号

- 言志私録 ● 「トンボの眼」(公財)北九州活性化協議会 会長 西村 韶道…………… 1
- 特 集 ● AIM海外事務所紹介(張家港市人民政府駐北九州市経済貿易事務所 / 煙台市駐北九州経済貿易事務所) …… 2
- 事業紹介 ● 研修講座案内 / 北九州貿易懇話会 / インドネシアミッション…………… 4
- 会員情報 ● 会員だより(見大無錫精密機械有限公司) / 会員紹介(豊前産業(株) / (株)松島機械研究所)…… 6
- ニュース ● アジア経済情報 / 《特別ニュース》台湾・高雄市との覚書締結…………… 8
- ジェトロ ● 投資・視察ミッション及びセミナー報告(ベトナム / タイ / インコタームズ2010)…… 9
- 貿易実務 ● データベースを用いた地域比較 / 貿易質問箱…………… 10
- イベント ● 西日本インポートフェア / 九州エコフェア / 西日本総合機械展…………… 12
- メンバー ● 国際ビジネスアドバイザー…………… 12



KFTA
Kitakyushu Foreign Trade Association
社団法人北九州貿易協会



公益財団法人 北九州活性化協議会
会長

西村 韶道

トンボの眼

『羅生門』は、芥川龍之介の短編小説「藪の中」を原案に黒沢明監督が映画化、この作品は世界に“クロサワ”の名を知らしめた歴史的な傑作とされています。物語の舞台は平安時代。京の都に程近い山中で、山賊が旅の武士夫婦を襲い、妻を強姦し、武士を殺害。ほどなくして、山賊は捕えられ検非違使による裁判にかけられますが、そこで山賊と武士の妻の言い分が真っ向から対立。すべてが食い違っていたので、霊媒師の口寄せによって武士の霊を呼び出しますが、それも前の二人の言い分とは全く食い違っていました。つまり、山賊、武士、武士の妻の3人の証言がすべて違っているのです。それぞれの言い分はそれぞれにもっともらしく、真実は最後まで分からないままで映画は終わります。

このように、物事は見る角度やその人の立場によって、全く違って見えるということを行っているのではないのでしょうか。要は、わたくしたちが確実と思っていることも、案外そうではないかもしれないのです。

わたくしたちは、世の中のできごとを一方的に「白だ」「黒だ」と決めつけて、黒を徹底的に痛めつけたりしてはいないでしょうか。少し視点を変えてみて、わたくしたちは、自分と違うものや違う意見を持つ人を徹底的に排除していないでしょうか。異端を排除しない、異質なものと共存する日本特有の柔構造社会、寛容の精神に富む社会が壊れつつあるのではないのでしょうか。そして、あまりにも感覚的で、勢いだけで判断をしてはいないでしょうか。面倒くさがらずに、興味を持って、いろいろと多角的に考えてみる事が、今こそ重要なかもしれません。

『羅生門』は60年前の映画でしたが、先日観た『悪人』は2010年の日本の映画賞を総なめにした話題作です。福岡と佐賀の県境で起こった殺人事件の容疑者として浮かび上がる長崎の土木作業員と、出会い系サイトで運命的に出会ってしまった佐賀の孤独な洋品販売店員の逃避行を、二人を取り巻く人たちの視点を絡ませて描いた作品です。

誰が本当の「悪人」なのか。じっくりと考えてみたいと思います。

西村 韶道



「佐藤一斎 像」
渡辺 崋山 筆

当ページの由来となった「言志四録」は、江戸時代後期、儒学の最高権威と崇められた「佐藤一斎」が40数年の歳月をかけ記した語録。小泉前総理が、審議中に「言志四録」についてふれ、知名度があがる。現代にも通じる指導者のためのバイブル的存在。

(参考:ウィキペディア)

●張家港市人民政府駐北九州經濟事務連絡所

貴社のビジネスを強力にサポート!!!

交通が非常に便利!!
上海浦東空港までは
わずか2時間!!

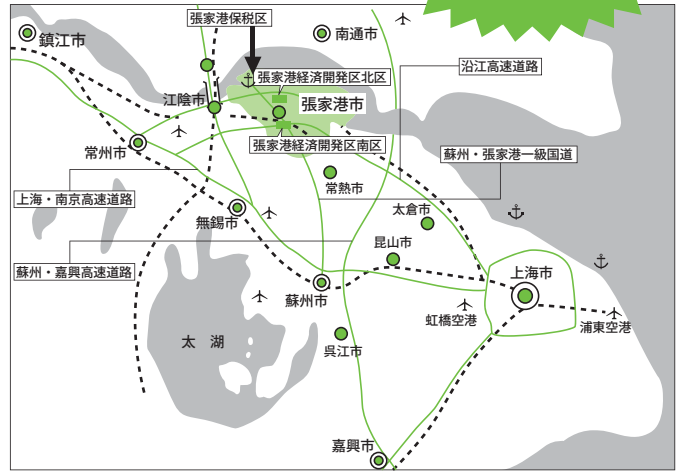
張家港市の經濟事務連絡所を活用してみませんか

西日本特に九州地方の企業の張家港及び中国ビジネスのお手伝いをさせていただきます。

- 張家港に投資したい
- 張家港及び中国へ商品を輸出したい
- 張家港及び中国から商品を輸入したい
- 張家港と人材交流(技能実習生、留学生など)をやりたい

などなど、どうぞお気軽にお問い合わせください。

必要性に応じて現地調査の同行もOK。



ごあいさつ



張家港市は中国江蘇省の南東部、長江デルタ後背地下流における新興港湾工業都市です。

昔は唐代の高僧鑑真が張家港市から出発し日本へ渡りました。

日中両国の文化交流に大変縁の深い地であります。現在は日本の香川県丸亀市と姉妹都市提携を行っています。

周辺都市と比較した最大の特徴は、日本との定期航路もある国内有数の国際河川港があること、港湾設備と隣接して内陸型保税物流園区があることです。

■事務所メンバー

所長:張 亞平 (写真)

所員:張 瑩

張家港市は新興港湾工業都市として、内陸部では中国初の保税區が設置されるなど、天然の良港張家港を中心にめざましい発展を見せています。中国への投資をお考えの皆様には、ぜひ当市を有力候補として検討いただけるようお願い申し上げます。

当市への投資、現地企業との交流、中国からの技能実習生の受入れ等につきましては、ぜひ、私ども張家港市人民政府駐北九州經濟事務連絡所をご利用ください。

張家港市概要

張家港市は、上海中心部から北西に115km離れた長江下流の南岸に位置し、蘇州市傘下の県級市です。総面積は999km²、2009年末の人口は90万人です。

気候は亜熱帯季節風気候で、四季がはっきりしており、2010年の年間平均気温は15.4℃、年間降雨量は1050.5ミリです。

2010年のGDPは1,600億人民元、前年比14.1%の増加。また財政収入は116.06億人民元、前年比10.5%の増加となっています。

張家港市は工業經濟・工業構成の発達・成長により、紡績、冶金、機械電子、建材、化工及び食用油的六大工業中堅産業都市になっています。

港湾埠頭

張家港港湾は水深区域が沿岸に近く、冬も凍結せず、土砂も堆積しにくく、風を避けられる安全な港湾であり、年中貨物船の出入港が可能です。

万吨埠頭があり、年間貨物取扱量が6000万トンに達し、コンテナ取り扱い能力が30万個を超えます。2010年、江蘇省張家港の貨物取扱量は2億トンを突破し、全国県域港湾でもトップとなっています。

中国のコンテナ、木材、食糧油製品、鉄鋼、化学品、紡績原材料の主要集散地であり、中国中西部及び長江流域各省との重要な中継港です。

今まで、国際ルートは23通開通して、国際船便が月に40便あり、世界140余りの貿易港との海運業務を行っています。

国内最大の木材、大豆、羊毛、綿花、化学品、再生品の輸入港と米、中型バス、金属工具の輸出港となっています。

代表企業紹介

中国江蘇国泰國際集團國貿股份有限公司は上場する江蘇省政府所管の国営大手企業で、2010年の年商は4.5億ドル。主な事業内容は輸出入貿易、各職種の技能実習生派遣、各種類投資。

各職種の技能実習生派遣について、1992年から、日本へ研修生を送出し始め、今まで延べ6000名余りに達し、在日人数は1000名弱に達しています。



お問い合わせ先

張家港市人民政府駐北九州經濟事務連絡所

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3-8-1 AIM8F

TEL:093-981-9397 FAX:093-981-9452

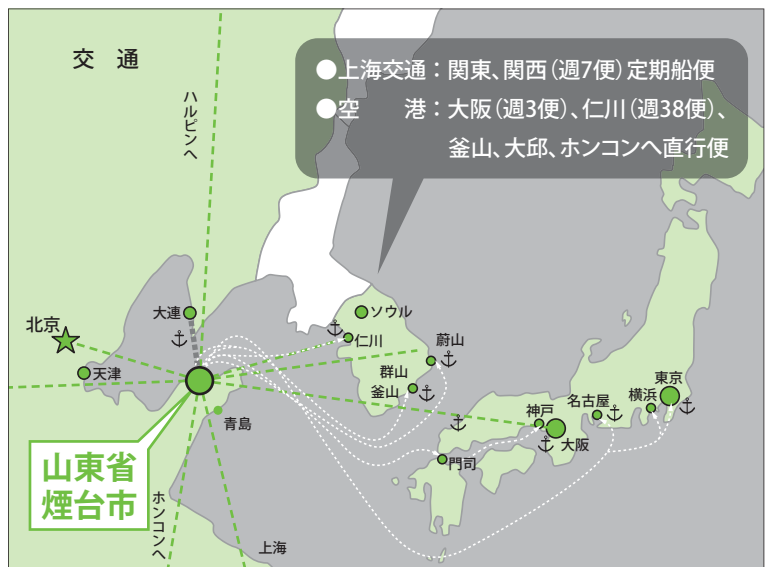
E-mail:zhangyaping@gtiggm.com

●煙台市駐北九州経済貿易事務所

中国煙台市は2007年7月、北九州市に煙台市経済貿易事務所を開設し、九州を中心とした日本との経済交流を促進するとともに、九州と関西地方を中心に技能実習生を派遣しています。

煙台は中国山東半島東部にあり、面積は1.37万km²、人口は650万人です。関西空港と航空路線が開通して毎週3便往復しています。

煙台市の主要産業は機械加工、電子情報、金産業、食品加工であり、リンゴ、ナシ、サクランボ、春雨、張裕ワインなどの農産物は国内外で大人気です。また海岸線は909kmで漁場が広いいため、ナマコ、アワビ、ホタテガイなどの海産物も有名です。



ごあいさつ



副所長：李文広

煙台市は、「徐福の故郷、七福神の出発地、遣隋使と遣唐使の上陸地」などの歴史を有し、山東半島の北部に位置し、環渤海湾経済圏、首都経済圏及び東北経済圏の中の重要な都市となっており、中国で最も早く開放された14沿海開放都市の一つでもあります。

現在、煙台市の総生産量（GDP）は山東省で第二位になっております。伊藤忠商事、三井物産、三菱商事、三菱マテリアル、朝日ビール、デンソー、ホンダトレーディング、出光興産、矢崎総業、荏原製作所など世界のベスト500社及び多国籍企業の中から70余社が煙台に進出しています。

中国中央政府は、環渤海湾経済圏を珠江デルタ経済圏、長江デルタ経済圏の後に続く第三の大経済圏として、その発展を迅速に進めているところです。山東半島海洋経済発展戦略、黄河デルタ高効率生態経済区の建設も新たな国家戦略に基づいています。渤海湾に沿った煙台市は、その中心勢力として重大なチャンスを迎えています。

中日間の経済交流は、今後益々大きくなると思いますが、当事務所は、北九州と煙台市、更には中国との経済、文化、旅行についての交流を推進いたします。お気軽にご活用ください。

事務所のサービス内容

- 中国煙台への進出の協力
- 煙台及び中国への製品、技術の販路拡大支援
- 煙台観光の案内
- 派遣した技能者の研修、実習生の管理・指導・教育
- 煙台現地企業視察の協力
- 煙台及び中国からの製品、技術の購入協力
- 中国技能実習生の受入支援
- 煙台及び中国のビジネス・市場情報の提供

お問い合わせ先

煙台市駐北九州経済貿易事務所 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3-8-1 AIM8F
TEL:093-981-7997 FAX:093-981-7998 E-mail:jfjlgw@yahoo.co.jp

是非、当協会の
研修事業を
ご活用ください。

平成23年度 『(社)北九州貿易協会 研修講座』のご案内

●貿易実務研修

貿易実務講座 (基礎編・実践編)

貿易に関する契約の締結から輸入完了までに必要とされる実務の知識を、基礎編及び実践編とに分けて学びます。
基礎編は特に新人の方を対象としております。

基礎編

5月31日(火)・6月1日(水)
6月9日(木)・10日(金)

●講師/立命館アジア太平洋大学 横山 研治 教授

●講師/西南学院大学 福田 靖 教授

実践編

8月4日(木)・5日(金)
8月25日(木)・26日(金)

●講師/立命館アジア太平洋大学 横山 研治 教授

各々の分野に精通した講師による実践的な講義です。

●語学研修

ビジネス英会話講座 (初級・中級)

実践式の授業で、国際ビジネスマナーを含む、ビジネス英会話を楽しく学べます。(授業はすべて英語で行います)

◎めやす 初級…TOEIC 450点前後レベル 中級…TOEIC 600点前後レベル

初級コース

6月15日・22日・29日・7月6日・13日(水曜日)の5日間 講師/トラヴィス・プロー 氏

中級コース

9月21日・28日・10月5日・12日・19日(水曜日)の5日間 講師/ケネス・ギブソン 氏

ビジネス中国語講座 (入門)

楽しい!と評判の王先生の授業を、今年も開催致します。基礎の四声から学びます。

2011年11月頃予定(週1回×6回) ●講師/王 琨(ワン・クン) 氏

●海外事業人材育成研修

中国ビジネス人材育成講座

関西弁でのテンポ豊かな分かり易い授業を、今年もご提供致します!

中国とのビジネスに従事する人材の育成を目的に、法務、税務、人事・労務管理など実践的な知識・技能に関する講義です。

9月14日(水)・15日(木) ●講師/日中ビジネスサービス有限会社 代表 仙波 慶子 氏

ベトナムビジネス人材育成講座

ベトナムとのビジネスに従事する人材の育成を目的に、法務、財務、人事・労務管理など実践的な知識・技能に関する講義です。

10月25日(火)・26日(水) ●講師/株式会社社会川アジアビジネス研究所 代表取締役 会川 精司 氏

他にも経営支援セミナー等もご用意しております。料金などについての詳細は、ウェブをご覧ください。

お問い合わせ先

(社)北九州貿易協会 TEL:093-541-1969

<http://www.kfta.or.jp/senmon.html>

北九州貿易懇話会

～在福岡の外国領事館及び貿易団体と情報交換～

2月22日、福岡県内の領事館や外国貿易関係団体を本市に招き、「北九州貿易懇話会」を開催しました。これまでも年1回の頻度で、各国の領事館及び貿易団体と地元行政関係者等との間で、情報交換目的の交流会を開催していましたが、今回は初めて地元企業にも門戸を開き、総勢50名(外国団体:22名、地元企業等:28名)の参加となりました。

第1部の懇話会では、希望団体がリレー方式で、日頃の活動状況について映像などをまじえてプレゼンを行いました。第2部の交流会では、名刺交換や意見交換を行い、活気溢れる有意義な会となりました。



外国参加団体

※順不同

- 台湾貿易センター福岡事務所
- オーポラロシア福岡
- タイ国政府貿易センター福岡
- 福岡オーストラリア総領事館
- 中国重慶技術・経済福岡駐在事務所
- 中華人民共和国駐福岡総領事館
- 韓国大田広域市福岡通商事務所
- 駐福岡大韓民国総領事館
- 在福岡米国領事館
- 大連市人民政府駐西日本経済貿易事務所

お問い合わせ先

(社)北九州貿易協会 TEL:093-541-1969

インドネシア鉄鋼ビジネス商談会を開催!!

北九州市 産業経済局貿易振興課

北九州市は、(財)北九州産業学術推進機構(FAIS)、(財)北九州国際技術協力協会(KITA)と連携して、鉄鋼関連分野に関して高度な技術力を持つ北九州市の企業5社によるミッション団を編成し、インドネシア最大の国営製鉄会社であるPT Krakatau Steel社(クラカタウ社)が立地するインドネシア・チレゴン市を訪問し、「インドネシア鉄鋼ビジネス商談会」を実施いたしました。

インドネシア鉄鋼ビジネス商談会には、クラカタウ社及びインドネシア鉄鋼工業協会(IISIA)の鉄鋼関連企業から約100人が参加し、参加者からは北九州企業の持つ高度な技術・製品に対する引き合いや質問が多く寄せられ、盛況のうちに終了しました。



インドネシア鉄鋼ビジネス商談会の開催風景

ミッションの概要

- 日程: 2月21日(月)～2月26日(土)
- 訪問先: PT Krakatau Steel社及び鉄鋼関連企業(所在地:インドネシア・バンテン州チレゴン市)
- ミッション参加団体
 - 団長(専門家) 工藤 和也(KITA副理事長)
 - 企業(5社) 大光炉材(株)、(株)ドーワテクノス、吉川工業(株)、(株)折尾鉄工所、寒川商事(株)
 - 同行団体 北九州市、FAIS、ジェットロ北九州
- 主催: (財)北九州産業学術推進機構(FAIS)、北九州市、ジェットロ北九州



晃大商事株式会社

代表取締役社長 大石 彰一郎

晃大商事(株)中国現地法人の紹介

当社は1966年に会社を設立し鋼材、特殊鋼の販売を手掛け、1976年オイルシールメーカーの最大手であるNOK株式会社と取引を開始、当初は単品加工部品、あるいは治工具といった加工部品を供給致しておりました。その後社内の研修等を充実させ徐々に加工精度の向上を計り、金型といった精密度の高い加工分野へと範囲を拡大、又 油圧、電気へと進展しオーリング製造機器といった装置メーカーへと成長して参りました。1985年には超精密加工分野へ参入し、24時間温度と湿度を一定に保つ第一恒温室、クリーンルームを備えた第二恒温室の建立に至りました。

この設備を背景にして、時代の要請もありグローバル企業を目指し2002年に中国余姚市に独資子会社として寧波晃大精密機械有限公司、2004年無錫市に晃大無錫精密機械有限公司を設立し海外でも製造可能な環境を整え製品の供給に努めてまいりました。

また、今後は中国での販売網も既存の取引先を中核に中国でも特に関心の高い環境分野へもお手伝いできるように、まずは環境技術を結集した製品の供給を心掛け貢献したいと考えています。

今後も世界市場を見据え環境技術を生かした当社製品の販路拡大を展開していきたいと努めてまいります。



晃大無錫精密機械 有限公司

中国江蘇省無錫市錫山雲林北路1号

豊前産業株式会社

弊社は、1973年(昭和48年)3月の創業依頼、半導体製品の製造委託業務を行ってまいりました。現在では半導体の完成製品、半完成製品の目視外観検査、顕微鏡検査、計測測定、半導体製品の梱包、出荷、業務請負、人材派遣(特定人材派遣許可番号特40-300406)を主な業務としています。

当社が行っている外観検査、目視検査は、入社後、6ヶ月の専門教育を行い、社内認定検定に合格した検査員が行います。検査員は1年ごとに更新検定を受け、高い技能レベルを維持しています。また、緊急な納期要求も万全を期した体制を取っており、最短での納期で対応しております。是非、当社の外観検査をお試し下さい。必ずご満足頂けるものと思います。

上毛(こうげ)町周辺は澄んだ水、質の高い労働力、北九州への交通の便に恵まれています。新北九州空港の開港に伴い首都圏も身近になりました。また昨今は中国をはじめアジア全域をビジネス圏内と捉え2011年1月から、新しい業務として資材海外調達支援業務を開始しました。主に中国、タイランドの企業をサプライヤーとして開拓しています。資材調達コスト削減に於いて皆様のお役にたてるご提案をさせていただきます。是非、問い合わせください。

地方から“元気”を発信する「地域に密着し、貢献できる企業」として尚一層努力してまいります。



昭和59年本社移転当時

〒871-0902 福岡県築上郡上毛町大ノ瀬200-2

TEL:0979-72-2039

<http://www3.ocn.ne.jp/~buzen/index.html>

株式会社 松島機械研究所

当社は、1946年創業の産業用計測機械メーカーです。創業当初は、比重の違う石炭とボタを水路に流して選別する「自動ボタ抜き装置」が大ヒットし、石炭産業の隆盛とともに、国内シェア70%を占めました。その後、鉄鉱石、コークスなどの溶鉱炉用原料の貯蔵量を測定するレベル計の開発などを行ってきました。現在の代表的製品である「マイクロ波レベル計」は、高温・高圧、高濃度の粉塵や蒸気といった悪環境下でも、タンクやサイロ内の安定したレベル計測ができることが最大の特徴です。その上、日本初の完全国産化により、短納期化、低価格化、メンテナンス性の向上とともに、日本語表示のため、操作性も向上しました。また、2009年には、北九州市が独創的な技術や製品を提供する優れた中小企業に与える「北九州オンリーワン企業」の第一回目の認定企業として表彰されました。

このような技術力と重工業界での経験をもとに海外市場へも早くから積極的に営業展開しております。

溶鉱炉用や悪環境下の計測器として、日本はもとより中国、韓国、台湾でもトップシェアを有しており、近年ではインド、ブラジル、ロシア等の新興国でも多くご採用を頂いております。

巨大市場に成長した中国では、2003年に上海に生産工場を立上げ、更に現地の需要に応えるために、フィールドサービスと営業の体制も構築致しました。

世界市場でみるとドイツ製がシェアを握る産業用計測機器の業界ですが、北九州発の日本製メーカーとしてグローバルに奮闘しております。



〒807-0831 北九州市八幡西区大字則松461

TEL:093-691-3731

<http://www.matusima.co.jp>

アジア経済情報

～「北九州貿易協会ウィークリーニュース」より～

■北九州貿易協会ウィークリーニュースとは

「北九州貿易協会ウィークリーニュース」は、(株)エヌ・エヌ・エーの提供するアジアのビジネス情報、北九州市の海外事務所(大連・上海)からの現地情報、国内外の経済情報、各種展示会情報などを満載して、毎週月曜日に北九州貿易協会会員の皆様にメール配信しています。

日本と経済連携協定を調印：先行の韓国と「同じ土俵」に

[インド]

前原誠司外相と訪日中のシャルマ商工相は2月16日、日本とインドの自由貿易協定(FTA)を含む経済連携協定(EPA)に署名した。

発効は両国の承認手続きを経て30日後となる。日本は衆参両院での承認が必要。

発効すれば、日本からのインド輸出額の90%が10年間で無税となる。インド側は鉱工業品のほぼすべてが即時撤廃され、10年で対日輸出の97%無税になる。

日本の外務省が特に日本側の関心が高い品目として関税引き下げを例示しているのは、鉄鋼製品の熱延・冷延鋼板、合金

銅、亜鉛メッキ鋼板が5%から5年間で無税になるほか、電気・電子製品のリチウムイオン電池、DVDプレーヤー、ビデオカメラが10%から10年かけて撤廃される。一般機械はブルドーザー(7.5%)、トラクター(10%)も10年で無税となる。

ただ完成車は乗用車、商用車ともに対象外となっている。

協定にはビジネス環境の整備に向けた合同委員会の設置も盛り込まれており、年に1度の会合が行われる。合同委員会の下には小委員会が設置され、両国の官民の協議の場となる。日本側は在インド大使館や日本貿易振興機構(ジェトロ)、インド日本商工会(JCCII)などが含まれるという。

労働者確保で苦労続く：説明会も閑散＝広東省

[中国]

春節(旧正月)連休が明け1週間余りたったが、企業はまだ労働者確保に苦労している。広東省各地で開かれる求人説明会には、求人数を大幅に下回る参加者しか集まらず、給与を引き上げても採用に至る例は少ないという。

2月16日付広州日報が東莞市の話として伝えたところによると、春節前に帰省した350万人余りの出稼ぎ労働者(農民工)のうち、現在までにUターンしたのは約160万人どまりという。同市は省内でも農民工が多い地区として知られるが、まだ200万人ほどが戻ってきていない。

恵州市で2月10日に行われた求人説明会には170社が7,500人余りを募集したが、来場者はわずか1,000人ほど、仮契約を交わしたのは約300人にとどまった。12日も100社が4,000人を募集したが来場者は800人しかいなかった。2月15日に仏山市で開かれた説明会では67社が1,134人を募集、仮契約したのは572人だった。

労働部門によると、仏山では8万人、惠州では9万人が不足。不足数は昨年よりそれぞれ1万人余り増えた。江門市では不足数が昨年より4万人増加して、全体で20万人以上が足りない。

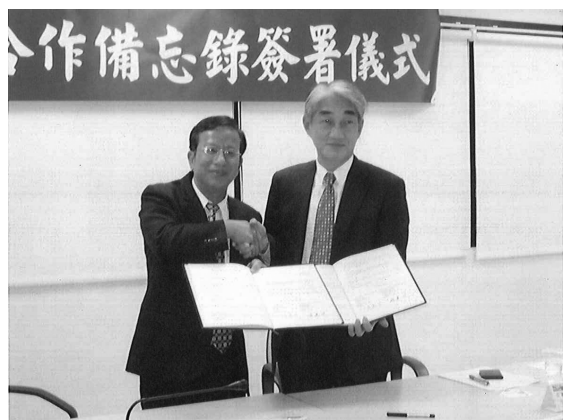
特別ニュース 台湾・高雄市との経済交流促進に関する覚書の締結

台湾経済は、設備投資と自動車販売などの消費の拡大による好調な内需と電子部品、産業機械など輸出型産業の好業績により、2010年の経済成長率が10%を超え、2011年も5%を超えると予想されています。また、中国との「中台間の経済協力枠組み協定(ECFA)」の締結により一層の注目を集めております。

こうした経済情勢を踏まえ、北九州市と(財)北九州産業学術推進機構(FAIS)は、2011年2月、台湾に鉄鋼関連企業のビジネス訪問団を派遣し、台北市及び高雄市で商談会を開催しました。商談会では、訪問団のプレゼンに対する台湾企業の関心が高く、継続協議案件が多く生まれるなどの成果がありました。

この訪問団に同行した北九州貿易協会は、台湾最大の鉄鋼の街として知られる高雄市と「経済交流促進に関する覚書」を締結しました。この覚書は、両市の経済交流の促進、企業間取引や連携の支援、経済発展に資することを目的として、貿易協会及び高雄市が誠実に協議し協力することを確認したものであり、これを受け3月には高雄市長が来北しました。

台湾・高雄市にご興味がある方は、是非当協会にご連絡ください。



お問い合わせ先

(社)北九州貿易協会 TEL:093-541-1969

▶ 海外への投資・視察ミッション報告!

1 ベトナムへの機械設計分野の人材・企業訪問

経済成長著しいベトナムでは、ITソフトウェア分野のオフショア開発を行なう日系企業が増えています。一方、「ソフトウェアに比べ、よりコミュニケーション能力や規格等の知識を必要とする機械設計のアウトソーシング先となりえるか」、現状を視察するべく、ジェトロでは日本機械設計工業会九州支部と2月9日～12日にハノイに視察ミッションを派遣しました。参加者の方々からは、「機械設計についてはまだ受注可能な企業が非常に限られており、人材育成が求められている現状だが、今後の展望としてビジネスチャンスを見出せた」との感想がありました。



2 タイへパーツネット北九州と自動車部品ミッション派遣

北九州地域の自動車部品関係企業が集まるパーツネット北九州とジェトロでは、2月20日～23日にタイへ自動車部品ミッションを派遣しました。

タイには、日米欧の自動車・同部品メーカーが多数進出し、年間に150万台に迫る自動車を生産しています。また、裾野産業が充実しているだけでなく、ASEAN自由貿易地域(AFTA)やタイ-インドFTAなどが活かせるメリットがあり、今後、タイを拠点に新興国への輸出の動きも加速することが見込まれています。



進出日系企業や地場企業の工場を視察したほか、タイ投資委員会(BOI)、日本人商工会議所、経営者同士の意見交換を行いました。参加者の方々からは、第二次投資ブームと言われるタイでのものづくりについて、今後の経営方針の参考になったとの評価の声が寄せられました。



▶ セミナー開催報告!

セミナー「インコタームズ2010」開催!

インコタームズは、国際商業会議所(ICC)が貿易取引条件の解釈に関する国際規則として制定されており、10年振りにインコタームズ2010として改訂されました。世界の貿易業界に広く普及したインコタームズは、国際貿易にかかわるすべての企業・個人にとって、理解が欠かせません。今回の改訂を契約実務にどのように活かせばよいのか、日本商事仲裁協会の理事・大阪事務所長の大貫雅晴様を招いてセミナーを開催しました。



【インコタームズ2000との主な相違点】

①13条件から11規則へ(DAF、DES、DDUが削除され、新たにDAPが追加)。②国内取引にも適用できる規則へ。③FOB、CFR、CIFにおける危険の移転地点について、「本船のてすり」から「本船船上に置く」へ。これにより、現行の契約書の早急な見直しや変更が必要なケースも。

インコタームズ2010をはじめ、貿易実務について相談がある場合は、お気軽にジェトロへお問い合わせください!

お問い合わせ先

ジェトロ北九州(担当: 酒向) TEL:093-541-6577

データベースとその活用事例のご紹介

(株)日本統計センターでは様々なデータを収集・整備しています。例えば、日本国内では、都道府県、市区町村といった地域から町丁等の小地域にわたる国の指定統計や、独自推計の性・年齢別昼間人口、所得ランク別就業者数等のデータベースを、中国国内では、省別、都市別(副省級市を含む283地級市および4直轄市)の人口、GDP、固定資産投資額、外国資本利用状況等の統計や、独自推計の性・年代別推計人口、品目別推計消費支出額等のデータベースを構築しています。ここでは、これらデータベースを用いた分析事例や、インターネットによる当社配信サービスの事例等、様々な形態によるマーケティング分野でのデータベース活用事例を紹介していきます。

データベースを用いた地域比較

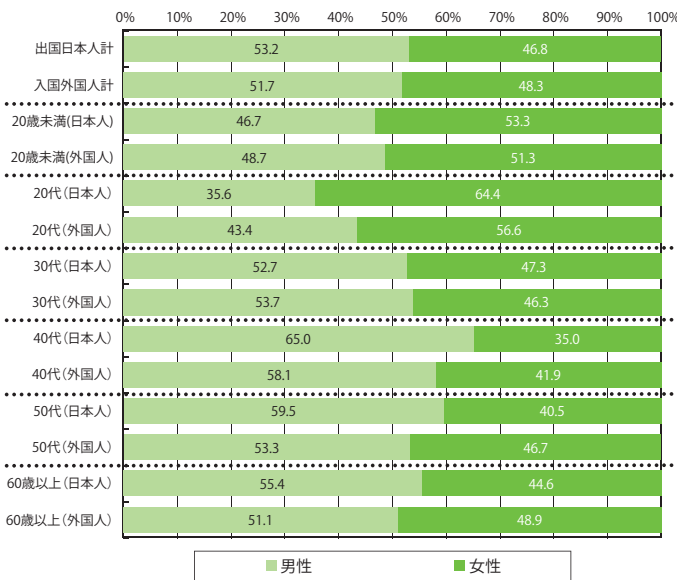
◆日本の出入国者の特徴

この3月に九州新幹線が全線開通しましたが、これを機会に、国内はもとより、外国からの観光客を九州に呼び込もうと、さまざまな自治体が誘致キャンペーンを行っています。では、どのような人がアクティブに国外へ出かけているのでしょうか。

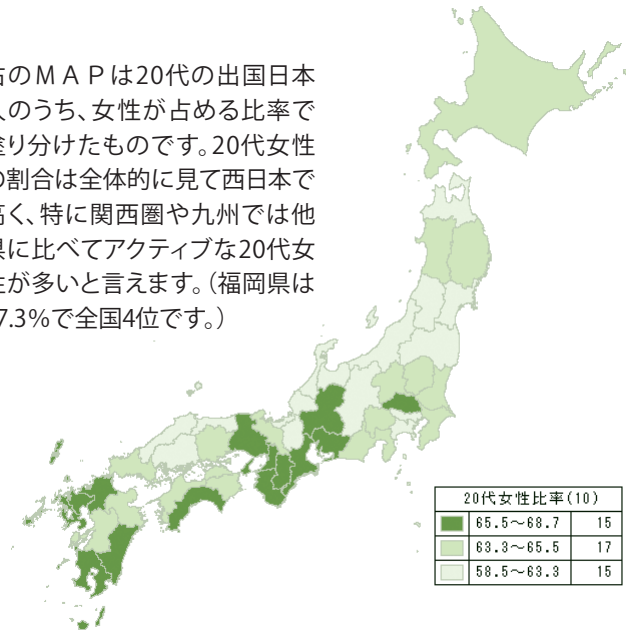
平成21年に日本から出国した日本人は1,544万5,684人、国外から入国した外国人は758万1,330人で、最近2年間は世界的な景気の悪化の影響もあり、減少傾向が続いています。(注)今回データは全て「出入国管理統計」(法務省)による。

■出入国者の年代別性比

日本人、外国人とも男女比はほぼ半々です。ただし、いずれも20代では女性の割合が圧倒的に高く、20代の出国日本人の64%、入国外国人の57%が女性です。30代以降はビジネスによる渡航が増えてくるためか、男性の割合が上昇傾向にあります。



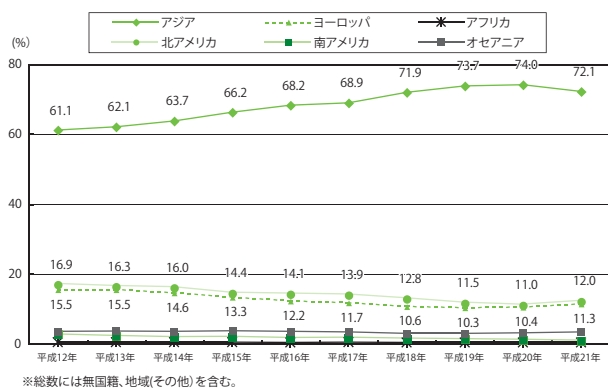
右のMAPは20代の出国日本人のうち、女性が占める比率で塗り分けたものです。20代女性の割合は全体的に見て西日本で高く、特に関西圏や九州では他県に比べてアクティブな20代女性が多いと言えます。(福岡県は67.3%で全国4位です。)



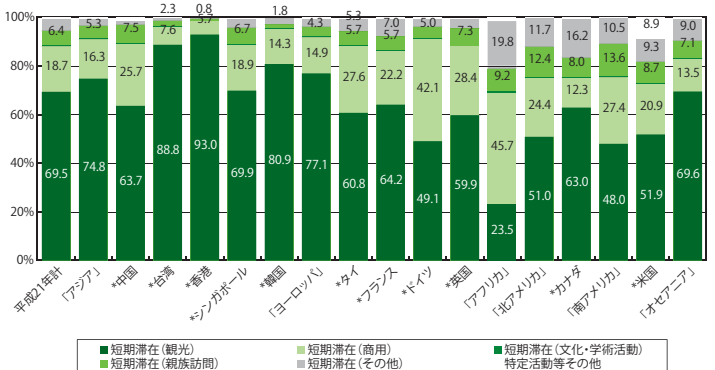
■入国外国人の傾向

前述したように、日本への入国外国人は最近減少傾向にあり、直近(平成21年)は前年から156.5万人の減少となっています。入国した国・地域ではアジアのウェイトが年々上昇し、相対的にヨーロッパや北米のウェイトは低下しつつあります。入国目的を見ると、全体では「観光」が7割を占めていますが、アジア全体、特に台湾や香港、シカゴ・ボールドは「観光」の割合が非常に高くなっています。ヨーロッパはアジアに比べると「商用(ビジネス)」の割合が高く、特にドイツは「商用(ビジネス)」の割合が42.1%と非常に高くなっています。アフリカは「商用(ビジネス)」中心で、半数近くをビジネス渡航が占めています。北・南アメリカはいずれも「観光」がほぼ5割で、国・地域によって渡航目的も様々です。

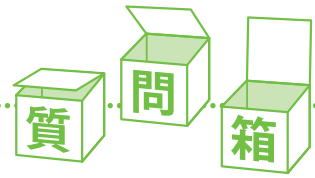
■入国外国人総数に占める地域別割合の推移



■国・地域別入国外国人の入国理由



掲載データ/サービス等に関するお問い合わせ先▶(株)日本統計センター 総合企画室 Tel. 093-521-3726 <http://www.nihon-toukei.co.jp>



(神戸税関 税関相談官室)

認定通関業者に係る 申告官署の選択制について

Q 認定通関業者に係る申告官署の選択制が、本年7月1日から施工されていますが、具体的な内容を教えてください。

A 認定通関業者に係る申告官署の選択制は、認定通関業者が、営業所毎に、税関が定める対象官署(下表に掲げる官署)の中から申告官署を選択し、その旨をあらかじめ税関に申し出ることにより、対象官署内の管轄区域に蔵置されている貨物について、輸出入申告及び関係書類の提出を当該選択した官署に行うことができる制度です。

選択制を利用するためには、申告官署の選択の申出を、原則として、毎年3月に認定通関業者の営業所毎に営業所の所在地を管轄する税関の本関に行う必要があります。また、申告官署を変更する場合及び選択制の利用をやめる場合には、原則として、毎年3月に申告官署の選択の申出を行った税関の本関に変更等に係る申出を行う必要があります。

なお、申告官署を選択する前に行った輸出申告及び輸入(納税)申告等は、当初の申告を受理した税関官署で引き続き処理することとなります。また、申告官署を選択する前に行った手続に関連して行われる事後の手続は、当初の手続を行った税関官署に対して行うこととなります。なお、申告官署を選択する前に行った手続のうち、蔵入承認、移入承認等の後に行う輸入申告を申告官署を選択した後に行う場合は、選択した税関官署に対して行うこととなります。

○対象官署

税 関	税関官署
東 京	本関、大井出張所
横 浜	本関、鶴見出張所、大黒埠頭出張所、山下埠頭出張所、本牧埠頭出張所
神 戸	本関、ポートアイランド出張所、六甲アイランド出張所、摩耶埠頭出張所
大 阪	本関、南港出張所、桜島出張所、大手前出張所
名古屋	本関、稲永出張所、南部出張所、西部出張所
門 司	本関、田野浦出張所

(注1) 東京税関は海上貨物に限ります。

(注2) 開庁時間外における取扱いは従来のとおりです。

○対象貨物

対象官署の管轄区域内に蔵置されている貨物です。ただし、ワシントン条約対象貨物(輸入貨物に限る。)は対象外です。

○対象手続

輸出申告及び輸入(納税)申告並びにこれらに類する手続等です。

(例) 輸入許可前貨物引取承認申請

蔵入承認申請、移入承認申請等

特例申告、特定輸出申告等

予備申告

「貿易実務ダイジェスト(2010年12月号)」より転載

西日本インポートフェア2011

会期 2011年5月1日(日)～5月5日(木・祝) [5日間] 10:00～18:00(最終日は16:00まで)
 会場 西日本総合展示場 新館(北九州市小倉北区浅野3丁目8番1号)
 入場料 一般 500円/高校生以下無料(前売券 300円) ※税込
 主催 (財)西日本産業貿易コンベンション協会
 URL <http://www.convention-a.jp/import/>
 <お問い合わせ先> (財)西日本産業貿易コンベンション協会 TEL.093-511-6800

西日本最大規模、世界のインポート商品が勢揃い。異文化が感じられる新しい生活様式を発見!

九州エコフェア2011 同時開催 ビジネスショウ九州2011

会期 2011年6月15日(水)～16日(木) [2日間] 10:00～17:00
 会場 福岡国際センター(福岡市博多区築港本町2-2)
 入場料 無料
 主催 社団法人日本経営協会・西日本新聞社
 URL http://www.noma.or.jp/show/eco_kyushu/
 <お問い合わせ先> 九州エコフェア事務局 TEL.092-431-3365

「低炭素社会の実現にむけて～進歩するエコ技術! 拡がる輪!」

第51回 西日本総合機械展

会期 2011年6月23日(木)～25日(土) [3日間] 10:00～17:00(最終日は16:00まで)
 会場 西日本総合展示場 新館(北九州市小倉北区浅野3丁目8番1号)
 入場料 700円(税込)
 主催 (財)西日本産業貿易コンベンション協会
 URL <http://www.convention-a.jp/kikai/>
 <お問い合わせ先> (財)西日本産業貿易コンベンション協会 TEL.093-511-6800

西日本地域の産業経済に必要な最新・最先端技術の工作機械・CAD/CAM・精密測定器ならびに産業用システム機器など金属加工全般に関わる機器や技術を一堂に展示し、デモンストレーションを行います。

メンバー紹介



国際ビジネスアドバイザー
佐藤 隆一

国際ビジネスアドバイザーの勤務も今年でちょうど10年になります。

世界各国との貿易や営業活動、そして韓国現地法人の経営等自らの経験を生かし、地域企業の皆様の国際ビジネスに関する支援活動を続けてきましたが、振り返ってみますとこの10年間に訪問した企業数は延べ1,500社を超え、その内200社近くの企業様とは国際ビジネスに関連する業務で現在もお付き合いを続けています。

北九州貿易・投資ワンストップサービスセンター(KTIセンター)は「北九州市貿易振興課」、「ジェトロ北九州」、「社北九州貿易協会」の3者が同じフロアに机を並べ、それぞれの持ち味を生かしながらお互いに連携し、地元企業の国際ビジネスを支援する機関ですが、民間出身のアドバイザーまで準備してこういう活動を行っているところは国内でも珍しいのではないかと思います。

どういう形であれ海外企業との付き合いは避けて通れない時代になってきました。

お役所臭くないところがKTIセンターやアドバイザーの取り柄です。どうぞお気軽に、どしどしご利用いただきますようご案内申し上げます。相談料は原則無料です。

またKTIセンターには国際関係の資料やパンフレットを展示し、自由に出入りできますので、ご相談ではなくてもお時間のあるときはご家族連れ、お子様連れで見学がてらお遊びにみえてください。大歓迎です。

お問い合わせ先 北九州市産業経済局貿易振興課 TEL:093-551-3605